

平成30年度第2回 福岡県飯塚区域地域医療構想調整会議の結果概要について

1 会議の開催日時及び場所

日時：平成30年8月8日（水）19時00分～20時00分

場所：飯塚医師会 第1研修室

2 出席委員

別紙委員名簿のとおり（出席者：出席委員15名、欠席1名）

3 議事概要

（I）議事について

（①） 地域医療構想の推進に係る今後の進め方について

（委員）病床が全て稼動していない病棟を有する医療機関について、病床が稼動していない有床診療所は数あると思うが、有床診療所も対象となるのであれば調整会議に提示、協議するかたちとなるのか。

（事務局）この後の資料でも説明するが、今回行った意向調査で有床診療所に休棟病床があるか調査し、まとめている。飯塚区域は部会を設置しているので病棟の再稼動等については部会で協議することになるだろう。

（①） 地域医療構想調整会議における「協議参加を求める場合」の運用について

【意見なし】

（②） これまでの取り組み状況について（公的医療機関等2025プランの処理状況 等）

【意見なし】

（③） 平成30年度財政支援について（回復期病床、介護医療院等への転換）

（委員）この区域の医療機関でも介護医療院への転換を考えているところはあるが、県に申請しても先に進まないということだが、この先は転換の可否についてこの場（調整会議）で話すことになるのか。

（事務局）まずは報告書を出していただいて、それから報告書を議長へ提出し、議長の判断で必要があれば調整会議に招請し、内容を説明していただくこととなる。そこで了承された場合は所定の手続きにのって申請していただく。

（委員）転換の申請があった場合、書類が出てきた場合はこちらに報告はあるのか。

（事務局）先に調整会議または部会に報告し、了承されてから具体的に申請となる。まず報告書を医療指導課に提出してもらい招請するかしないかは議長判断となる。介護医療院への転換は調整会議・部会に呼ぶという判断もあるし、呼ばないという判断もある。それは調整会議のほうに任せている。必ずしも（調整会議・部会に）かけないといけないものではない。

（委員）基本的に介護医療院に転換する際は、止めるということがあるのか。

（委員）手続きを踏まないと先に進まないということがあるので、そういった情報は風通しをよくしておかないといけない。

（委員）招請不要ということでそのまま認めることもあるし、必要なときは部会をひらくことになるが、皆様のご要望があれば伺います。

- (④) 平成29年度病床機能報告について
【意見なし】

＜以下、個別医療機関に関する事項のため非公開＞-----

- (⑤) その他
【意見なし】

以上